



平成23年1月号

編集/発行 小田原市立図書館 小田原市城内7-17 TEL0465-24-1055
かもめ図書館 小田原市南鴨宮1-5-30 TEL0465-49-7800
e-mail : tosho@city.odawara.kanagawa.jp

「小田原市子ども読書活動推進計画」が策定されました。

「家読（うちどく）」のスローガンを募集しています！！

小田原市では、子どもの読書活動の推進を図るため、昨年9月に「小田原市子ども読書活動推進計画」を策定しました。子どもの読書活動を推進する上で、乳幼児から小学校低学年の期間に身近に読書に親しむ環境が整っているかが非常に重要とされています。このため、計画の中でも家庭での読書活動について「家読（うちどく）のすすめ」としてその必要性を掲げています。

家庭における読書を無理なく楽しく実行するため「家読（うちどく）」を身近に感じられるような、親しみやすいスローガンを市民の皆様から募集をしています。

【期間】平成23年1月17日（月）まで

【申込】用紙に記入の上、図書館または最寄りの図書施設に直接
または市立図書館へ郵送・FAX あるいは図書館HPから

【応募用紙設置場所及び計画閲覧場所】

図書館または最寄りの図書施設及び図書館HP

読書活動推進講演会

『子どもが輝く学校図書館づくり』

【日時】1月31日（月）

午後1時30分～午後4時

【講師】赤木かん子さん（児童文学評論家）

【講師紹介】子どもの頃に読んでタイトル
や作者を忘れてしまった本を
探し出す「本の探偵」として
本の世界にデビュー。

【場所】かもめ図書館

【募集人数】30人・先着順

【受付】15日から・かもめ図書館まで

※「小田原市子ども読書活動推進計画」
の発表もあわせて行います。

市制70周年記念教育文化功労表彰受賞！ よみきかせグループ「すずの会」

毎週市立図書館、かもめ図書館で読み聞かせをしていただいている「すずの会」が市制70周年記念教育文化功労表彰を受賞されました！昭和55年12月市立図書館（星崎記念館）において現在代表でいらっしゃる塩練雪子さんの自発的な活動がきっかけで、小田原での読み聞かせが始まり、以来30年の長きにわたり子ども達に絵本の素晴らしさを伝え続けていただいております。

子どもの頃に読み聞かせに参加した方が、子の親にもなるほどの長い活動は、ひとえに「すず（鈴）の会」の皆様的情熱と本を愛する心、親子を見つめるあたたかなまなざしではないでしょうか。よみきかせを聞いている子ども達の目は時代は変わってもきらきらと輝いています。これからもきれいな鈴の音をいつまでも子どもたちの心に届けていただきたいと思います。

この度はおめでとうございます！



今年もやります！



図書館でいらなくなった本を無償で提供します！なお、開催にあたりましては「かもめ図書館フレンズ」および「小田原の図書館を考える会」の皆さまのご協力をいただいております。

【日時】2月27日（日）9時～16時

【場所】かもめ図書館

※混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。

かもめ図書館 書棚を移動しました

「小田原市子ども読書活動推進計画」の策定にあたり、ヤングアダルトコーナー（中高生向き）の書架の増設を行いました。それに伴い7門・8門・大活字本を移動いたしました。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきたいと思います。

最後の志士 田中光顕

小田原文学館の建物は、幕末の志士で、元宮内大臣でもあった田中光顕伯爵が別邸として建てたものです。田中光顕（1843～1939年）は、土佐藩出身の郷土で、武市半平太に剣術を学び、坂本龍馬らと共に土佐勤王党に加わった後に脱藩し、中岡慎太郎の組織した陸援隊で副将格として活躍します。97歳という長命で天寿を全うされた田中氏は、幕末から明治維新という激動の時代の生き証人です。晩年は明治天皇と維新の志士の顕彰につとめ、青山文庫（高知県佐川町）、常陽明治記念館（現在は、幕末と明治の博物館）（茨城県大洗町）、旧多摩聖跡記念館（東京都多摩市）の設立に尽力し、長年収集した維新の志士の遺墨や遺品を寄贈して一般に公開し、維新烈士の顕彰に余生を捧げました。現在でも、志士たちの手の跡が残る多くの貴重な資料が見られることは、田中氏の大きな功績と考えられます。

小田原文学館では1月末頃から、田中氏の人物像を、写真、年譜、人物関係図などのパネルを作成してご紹介する予定です。



◆本の予約状況（12月17日現在）

順位	書名（著者名）
1	夜行観覧車（湊かなえ）
2	小暮写真館（宮部みゆき）
3	プラチナデータ（東野圭吾）
4	往復書簡（湊かなえ）
5	白銀ジャック（東野圭吾）
6	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら（岩崎夏海）
7	1Q84 BOOK3（村上春樹）
8	カッコウの卵は誰のもの（東野圭吾）
9	あんじゅう（宮部みゆき）
10	アリアドネの弾丸（海堂尊）

読み終えてご不要になられた方
図書館にご寄贈ください。

☆ 小田原と文学



ー 小田原出身の文学者2名のエピソード ー

小田原市立図書館では、今年度、「小田原出身・ゆかりの文学者の紹介」をテーマとして、毎月1名の文学者について企画展示を行っています。その企画展示で取り上げた文学者について、人柄が偲ばれるエピソードなどをご紹介します。

☆ 藪田義雄 ～白秋を生涯慕った詩人～

- ・ 美しさにあふれる処女詩集では、ふるさと小田原を『白沙の駅』としました。小唄風の調べで、小田原の風物を回顧的にうたった作品です。
- ・ 『隨筆北原白秋』では、『人のよい童顔をほころばせて、くすりと笑ったものだった。』など、身近にいた人物によって描かれた、北原白秋の様子が伺えます。

☆ 村井弦斎 ～『食道楽』に描かれた小田原～

- ・ 新聞の懸賞論文に入賞し、20歳で洋行許可を受けてアメリカに外遊し、1年間滞在しました。
- ・ 代表作『食道楽』には、600種類以上の四季折々の料理や食材の話題が盛り込まれています。また、「食育」という用語を用い、何よりも大切であることが、記述されています。

◇ 情報発信コーナー／企画展示（市立）企画展示のコーナー（かもめ）◇

市立図書館（一般／児童）

- 1月 世界戦争史 / グリム童話の世界
- 2月 鉄道物語 / 恐竜のみみつ
- 3月 船の歴史 / 鳥のほん

かもめ図書館（一般）

- 1月 「江」姫たちの戦国
- 2月 地デジの準備はできていますか？
- 3月 かもめベストリーダー

かもめ図書館（児童）

- 1月 冬の絵本 / マレーク・ベロニカ
- 2月 日本ってどんな国？ / ごみ たろう
- 3月 オススメの「絵本」 / マーシャ・ブラウン